

伐採後に森林以外の用途に供されることとなる場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

伐採の期間の末日から30日以内

令和 4 年 5 月 20 日

南城市長 殿

住所 ○○市○○字○○1-2-3

報告者氏名 ●●●●●●●●●● 印

届出書を提出した日を記載

令和4年3月11日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所等

南城市 ○○字○○○ △△△-△△番地

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.50 ha		
伐採方法	皆伐	・ 択伐	伐採率 100 %
伐採樹種	ヒノキ		
伐採の期間	令和4年4月12日～令和4年4月30日		

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林の樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	—	—	—	—	—
天然更新	—	—	—	—	—

4 備考

伐採後に資材置き場を予定

伐採後の用途が森林以外である場合、その用途及び時期を記載

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 氏名を自署する場合において、押印を省略することができる。
- 3 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 4 面積は少数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 造林方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 7 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合には、ぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 8 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種毎に複数の行に分けて記載すること。
- 9 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。